

# 微生物学・免疫学Ⅱ

責任者・コーディネーター	微生物学講座(分子微生物学分野) 石河 太知 教授				
担当講座(分野)	微生物学講座(分子微生物学分野)				
対象学年	3	区分・時間数	前期	講義/演習 16.5時間	実習 22.5時間
期間	前期				

## 学修方針（講義概要等）

微生物は自然界に広く生息しており、その種類はウイルスから原虫まで多岐にわたる。ヒトは微生物との相互作用なくしては生存し得ない。しかし反面、ごく限られた微生物がヒトに対して病原性を発揮する。微生物学・免疫学では3年次において、2年次において理解した「微生物学総論・各論」と宿主側の感染防御機構たる「免疫学」の知識を踏まえ、う蝕・歯周病などの口腔感染症の病因論について講義・演習・実習を通じて学修する。

## 教育成果（アウトカム）

歯科医師として最大のターゲットとなる齲蝕と歯周病はともに口腔細菌による感染症であることから、その成立には微生物側の因子のみならず、口腔という局所の環境因子をも含めた宿主側の因子が大きく作用する。その他の口腔感染症をも含め、病因論に立脚した口腔感染症の知識、検証技術を習得し、さらに生命科学の一分野としての口腔微生物学・免疫学について理解できる。

（関連するディプロマポリシー：4、8）

## 事前事後学修の具体的内容及び時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・DESS等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。演習時は講義ノートを提出するものとし、評価の上返却する。

（事前学修：最低30分を要する 事後学修：最低30分を要する）

## 講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	4/10 (月)	1	石河太知教授 (微生物学講座 分子微生物学分野)	フローラ 人体の正常フローラについて理解する。	1. 人体各部の正常フローラについて説明できる。 2. 正常フローラと日和見感染症について説明できる。 [C-4-1)-①②]
講義	4/17 (月)	1	石河太知教授 (微生物学講座 分子微生物学分野)	口腔フローラ 口腔の正常フローラについて理解する。	1. 口腔のニッチとその構成細菌について説明できる。 2. 肉因感染症について説明できる。 [C-4-1)-①②, E-2-4)-(3)-①]
講義	4/25 (火)	3 4	寺尾豊 非常勤講師 (新潟大学 教授)	齶蝕の細菌・免疫学 齶蝕病原性細菌の性状と齶蝕成立機序を理解する。	1. ニュータンスレンサ球菌の病原因子について説明できる。 2. 齶蝕の成立機序について説明できる。 3. 齶蝕成立機序に関わる宿主免疫系について説明できる。 4. 齶蝕免疫について説明できる。 [C-4-1)-①②, E-2-4)-(3)-①]
演習	5/8 (月)	1	石河太知教授 三浦利貴助教 (微生物学講座 分子微生物学分野)	微生物学演習1 講義、実習で修得した知識を確実なものとして深化させ、問題解決能力の基礎を身につける。	1. 講義、実習で理解できなかった項目を列挙できる。 2. 理解できなかった項目の学習方法を説明できる。 3. 理解できなかった項目について学習し、説明できる。 4. 提示された課題の問題点を列挙できる。 5. 提示された課題についての学習方法を説明できる。 6. 提示された課題の学習を通して、自ら新たな問題点を見出すことができる。 [C-4-1)-①②, E-2-4)-(3)-①] 事前学習：これまでの講義内容に準じる領域のポートフォリオを作成し、同領域のDESS演習を行い講義に臨むこと。
講義	5/15 (月)	1	佐々木大輔准教授 (歯科保存学講座 歯周療法学分野)	歯周疾患の細菌・免疫学1 歯周病原性細菌の性状と歯周疾患の成立機序を理解する。	1. 歯周病原性細菌の性状とその病原因子について説明できる。 2. 歯周疾患の成立機序について説明できる。 3. 歯周疾患におけるHost-parasite relationshipについて説明できる。 [C-4-1)-①②, E-2-4)-(3)-①]

講義	5/22 (月)	1	石河太知教授 (微生物学講座 分子微生物学分野)	<b>歯周疾患の細菌・免疫学2</b>  歯周病原性細菌の性状と歯周疾患の成立機序を理解する。	1. 歯周病原性細菌の性状とその病原因子について説明できる。 2. 歯周疾患の成立機序について説明できる。 3. 歯周疾患におけるHost-parasite relationshipについて説明できる。 [C-3-1)-①②, E-2-4)-(3)-①]
講義	6/12 (月)	2	下山佑 非常勤講師	<b>歯内疾患の細菌・免疫学</b>  歯内疾患の原因細菌の性状と歯内疾患の成立機序を理解する。	1. 歯内疾患の原因細菌の性状とその病原因子について説明できる。 2. 歯内疾患の成立機序について説明できる。 3. 歯内疾患におけるHost-parasite relationshipについて説明できる。 [C-4-1)-①②, E-2-4)-(3)-①]
講義	6/12 (月)	3	下山佑 非常勤講師	<b>その他の口腔感染症と微生物、院内感染</b>  その他の口腔感染症、およびその原因菌について理解する。院内感染について理解する。	1. 齲蝕、歯周疾患を除くその他の口腔感染症について説明できる。 2. その他の口腔感染症の原因微生物について説明できる。 3. その他の口腔感染症におけるHost-parasite relationshipについて説明できる。 4. 歯科医療における院内感染とその予防法について説明できる。 [A-6-1)-⑥, C-4-1)-①②, E-2-4)-(3)-①, E-2-4)-(10)-②③]
講義	6/19 (月)	1	石河太知教授 (微生物学講座 分子微生物学分野)	<b>微生物の検出と感染症の診断</b>  微生物検査法とその原理について理解する。	1. 細菌の染色方法について説明できる。 2. 細菌の培養法, 同定法を説明できる。 3. 免疫学的血清診断法を説明できる。 [C-4-1)-①②]
演習	6/26 (月)	1	石河太知教授 三浦利貴助教 (微生物学講座 分子微生物学分野)	<b>微生物学演習2</b>  講義、実習で修得した知識を確実なものとして深化させ、問題解決能力の基礎を身につける。	1. 講義、実習で理解できなかった項目を列挙できる。 2. 理解できなかった項目の学習方法を説明できる。 3. 理解できなかった項目について学習し、説明できる。 4. 提示された課題の問題点を列挙できる。 5. 提示された課題についての学習方法を説明できる。 6. 提示された課題の学習を通して、自ら新たな問題点を見出すことができる。 [C-3-1)-①②, E-1-1)-①、E-2-4)-(3)-①、E-3-2)-③~⑤] 事前学習：これまでの講義内容に準じる領域のポートフォリオを作成し、同領域のDESS演習を行い講義に臨むこと。

## 実習日程表

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
実習	4/10 (月)	3 4	石河太知教授 三浦利貴助教 (微生物学講座 分子微生物学分野)  佐々木実 非常勤講師	<b>一般微生物学実習の概要と基本操作</b>  一般微生物学実習の内容と到達点を理解する。	1. 培地と細菌培養法について説明できる。 2. コロニー形態とグラム染色について説明できる。 3. 空中細菌と手指細菌の検査法について説明できる。 [C-4-1)-①②, ④] 事前学習：実習内容に準じる領域の教科書・ポートフォリオを熟読し、実習に臨むこと。
実習	4/17 (月)	3 4	石河太知教授 三浦利貴助教 (微生物学講座 分子微生物学分野)  佐々木実 非常勤講師	<b>化膿球菌の同定と性状解析1</b>  化膿球菌の性状、ビルレンス因子について知識を体得し、同定法への応用を理解する。	1. A群レンサ球菌とビリダンスレンサ球菌の性状について説明できる。 2. 黄色ブドウ球菌とコアグラゼ陰性ブドウ球菌の性状について説明できる。 3. B群レンサ球菌とブドウ球菌の性状の違いについて説明できる。 [C-4-1)-①②] 事前学習：実習内容に準じる領域の教科書・ポートフォリオを熟読し、実習に臨むこと。
実習	4/24 (月)	2	石河太知教授 三浦利貴助教 (微生物学講座 分子微生物学分野)	<b>化膿球菌の同定と性状解析2</b>  化膿球菌の性状、ビルレンス因子について知識を体得し、同定法への応用を理解する。	1. A群レンサ球菌とビリダンスレンサ球菌の性状について説明できる。 2. 黄色ブドウ球菌とコアグラゼ陰性ブドウ球菌の性状について説明できる。 3. B群レンサ球菌とブドウ球菌の性状の違いについて説明できる。 [C-4-1)-①②] 事前学習：実習内容に準じる領域の教科書・ポートフォリオを熟読し、実習に臨むこと。
実習	5/8 (月)  5/15 (月)	3 4  3 4	石河太知教授 三浦利貴助教 (微生物学講座 分子微生物学分野)  佐々木実 非常勤講師	<b>齧蝕病原性細菌の同定と性状解析、および口腔真菌の観察</b>  齧蝕病原性細菌および口腔真菌の性状、ビルレンス因子について知識を体得し、同定法への応用を理解する。	1. 口腔レンサ球菌の分類とニッチについて説明できる。 2. 口腔真菌の分類について説明できる。 3. <i>Candida albicans</i> の性状について説明できる。 [C-4-1)-①②、E-2-4)-(3)-①] 事前学習：実習内容に準じる領域の教科書・ポートフォリオを熟読し、実習に臨むこと。

実習	5/22 (月)	3 4	石河太知教授 三浦利貴助教 (微生物学講座 分子微生物学分野)	齲蝕病原性細菌および歯周病原細菌の同定と性状解析  歯周病原細菌の性状、ビルレンス因子について知識を体得し、同定法への応用を理解する。	1. <input type="checkbox"/> ユータンスレンサ球菌の性状について説明できる。 2. <input type="checkbox"/> <i>S. mutans</i> と <i>S. sobrinus</i> の違いについて説明できる。 <input type="checkbox"/> 3. 歯周病原細菌の性状について説明できる。 4. 歯周病原細菌の病原因子について説明できる。 [C-4-1)-①②、E-2-4)-(3)-①] 事前学習：実習内容に準じる領域の教科書・ポートフォリオを熟読し、実習に臨むこと。
	5/29 (月)	3 4	佐々木実 非常勤講師		
実習	6/5 (月)	1	石河太知教授 三浦利貴助教 (微生物学講座 分子微生物学分野)	口腔微生物学実習検討会  口腔微生物学実習から学んだものを各自発表し、感染症の成立機序と口腔微生物学の意義について理解する。	1. 人体および口腔の正常フローラについて説明できる。 2. 感染症の成立機序とその予防法について説明できる。 3. 口腔細菌感染症としての齲蝕と歯周病の成立機序について説明できる。 4. 免疫応答、免疫反応について説明できる。 [C-4-1)-①②、E-2-4)-(3)-①] 事前学習：これまでの実習内容を理解し、検討会および実習試験に臨むこと。
実習	6/12 (月)	1	石河太知教授 三浦利貴助教 (微生物学講座 分子微生物学分野)	口腔微生物学実習・実習試験  口腔微生物学実習から学んだものについて試験を実施し、感染症の成立機序と口腔微生物学の意義について理解する。	1. 人体および口腔の正常フローラについて説明できる。 2. 感染症の成立機序とその予防法について説明できる。 3. 口腔細菌感染症としての齲蝕と歯周病の成立機序について説明できる。 4. 免疫応答、免疫反応について説明できる。 [C-4-1)-①②、E-2-4)-(3)-①] 事前学習：これまでの実習内容を理解し、検討会および実習試験に臨むこと。

## 教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	口腔微生物学・免疫学 第5版	川端重忠ほか 編	医歯薬出版	2021年
参	ロアット カラー基本免疫学	ピーター・J・デルヴスほか 著	西村書店	2011年
参	口腔内科学	尾崎登喜雄 編	飛鳥出版室	2008年
推	病原体とヒトのバトル：攻撃・防御そして共生へ	山田 毅著	医歯薬出版	2005年

## 成績評価方法・基準・配点割合等

講義：小テスト、提出物および受講態度等	-----	20%
前期試験	-----	80%
実習：口頭試問、提出物および受講態度等	-----	30%
実習試験	-----	70%

## 特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用等）

一般的な講義に加え、少人数による演習を取り入れる。演習の際に小テストを行い、到達度を確認する。結果はフィードバックし、口頭試問、解説および補足講義を行い、知識の確実な定着をはかる。また、講義終了毎にポートフォリオの作成を課し、自学自習の習慣と知識の集約化をはかる。適宜確認、評価するとともにコメントを付けてフィードバックする。講義は全てディスカッション方式を取り入れて行う。講義前後に関連領域のDESS演習を用いた自己学習を行うこととする。

## 授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
二槽式アルミバス	ALB-301	1	基礎実習・研究用機器	実習に使用する試薬の調製
分光光度計制御用パソコン一式	FMV-BIBLO FMVNE460R3	1	基礎実習・研究用機器	実習における細菌の成長の測定
実体顕微鏡一式	SZ4045他	3	基礎実習専用機器	実習における細菌コロニーの観察
コピー機	imageRunner IR2210F	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習資料の作成
バイオメディカルフリーザー一式	MDF-U442特型	1	基礎実習・研究用機器	実習用菌株の保存
パソコン一式	MacBookPro1.83D uoMA463J/A	2	視聴覚用機器	講義・実習講義のプレゼンテーション用
生物顕微鏡	CX31N-11	8	基礎実習専用機器	実習における細菌形態の観察
実体顕微鏡	SZ61-C-SET	12	基礎実習専用機器	実習における細菌コロニーの観察
ノートパソコン MacBook	MC240J/A	1	基礎実習・研究用機器	講義・セミナー・研究発表のプレゼン、資料作成

一眼レフ フリーアング ルライブビュース パーシステム	NY-E620	1	基礎実習・研究用機器	実習におけるコロニー形態の 撮影
フリーザー付薬用保 冷庫	MPR-414F	1	基礎実習・研究用機器	実習用試薬、バッファー等の 保管
分析天秤	AB- 265S/FACT11139506	1	基礎実習・研究用機器	実習における試料、試料の重 量測定
USBデジタル顕微鏡・ 一式	1-8684-04	1	基礎実習・研究用機器	実習における細菌数、コロ ニー数の計測
Takara PCR Thermal Cycler Dice(グラン ジエント機能付)	TP600	1	基礎実習・研究用機器	病原細菌の解析
振とう培養用非接触 濁度計	OD Box-A	1	基礎実習・研究用機器	実習用細菌の培養
ノートパソコン MacBook	MC240J/A	1	基礎実習・研究用機器	授業・実習の資料作成
デスクトップパソコ ン Mac mini	Education ZONN	1	基礎実習・研究用機器	講義実習のスライド・レジメ 作成
モノクロコピー・複 合機一式	Satera MF7430	1	視聴覚用機器	配付資料作成等
ノートパソコン・ MacBook Air	MJVM2J/A	1	視聴覚用機器	講義資料作成等
ノートパソコン・Mac mini 一式	MGEM2JA	2	視聴覚用機器	講義資料作成等
冷蔵庫	ST55W(B)	1	基礎実習・研究用機器	実習、実験用試薬の保存
冷蔵庫	ST55W(B)	1	基礎実習・研究用機器	実習、実験用培地・緩衝液の 保存
卓上型pHメーター	S220InLab	1	基礎実習・研究用機器	実習、実験用培地・緩衝液の 調製
冷蔵庫	ST55W(B)	1	基礎実習・研究用機器	実習、実験用試薬の保存
冷蔵庫	ST55W(B)	1	基礎実習・研究用機器	実習、実験用培地・緩衝液の 保存
卓上型pHメーター	S220InLab	1	基礎実習・研究用機器	実習、実験用培地・緩衝液の 調製
ハンディ型自動セル カウンター Scepter2.0	PHCC20060	1	基礎実習・研究用機器	実習で使用する培養細胞数の 計測
パワーサプライMini- 500	13859-51	1	基礎実習・研究用機器	実習で行う電気泳動で使用
連続分注器 Multipette E3X	4987 000.029	1	基礎実習・研究用機器	実習で使用する試薬の分注
デスクトップパソコ ン Mac mini		1	視聴覚用機器	配付資料作成等
SpectraMaxM2 マイク ロプレートリーダー 一式	#M2-R	1	基礎実習・研究用機器	実習における酵素活性測定
微量高速遠心機	CF16RX II	1	基礎実習・研究用機器	実習・実験試料の調製

デスクトップパソコン iMac Retina		1	視聴覚用機器	講義資料作成等
ノートパソコン13インチ MacBook Air		1	視聴覚用機器	講義資料作成、プレゼンテーション等
デスクトップパソコン iMac21.5インチ	MMQA2J/A	1	視聴覚用機器	講義資料作成等
タブレットパソコン iPad Air10.9インチ Wi-fi 64GB スペースグレイ	MYFM2J/A	1	視聴覚用機器	講義時使用